

035

光ケーブルのルート多重化による信頼性の向上

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
西日本電信電話株式会社和歌山支店 【平成 27 年】	7120001077523	インフラ関連事業者 【情報通信業】	和歌山県

- 西日本電信電話株式会社和歌山支店では、通信設備の「ネットワークの信頼性向上」、「重要通信の確保」、「サービスの早期復旧」のため、通信ビル相互を結ぶ中継光ケーブルの重要ルートを沿岸部と山間部の多ルート化（和歌山県内ループ化）を図っている。具体的には、紀南の要となる田辺ビルの中継光ケーブルが津波及び土砂崩れで被災した場合、串本・新宮等が孤立するため、新たな迂回ルート（愛徳～中辺路間）を新設した。
- これに加え、南海トラフ地震においては広域かつ甚大な被害が想定されることから、防災訓練や災害復旧演習を年に 8 回行うなど（平成 27 年）、ソフト面での対策の充実も図っている。